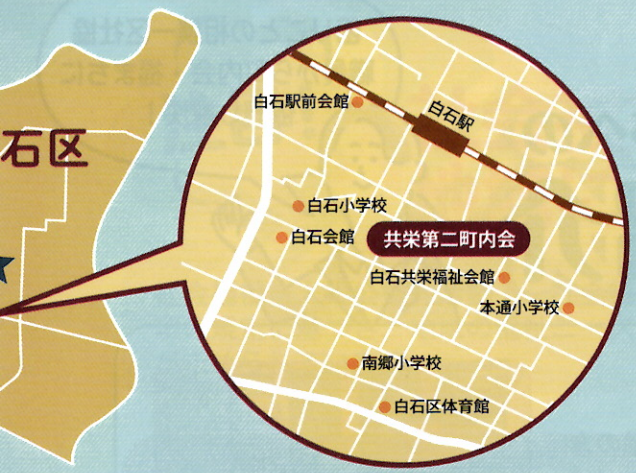




白石地区 共栄第二町内会





共栄第二町内会
会長　佐藤 淳一さん(中央)
副会長　小室 秀夫さん(右)
福祉厚生部長　坪井 誠さん(左)に
お話をうかがいました！

地域の特徴

共栄第二町内会（白石地区）は、加入世帯数1,090世帯からなる町内会です。戸建て住宅が多く、長くこの地域に住む方も多いですが、世代交代が進み、若い世代・子どもの数も増えています。

町内会役員・住民・店舗が連携しながら活動しています

共栄第二町内会はエリアごとに４つの区に分かれ、さらに区は複数の班に分かれながら町内会活動を進めています。班長は１年おきに交代制となっており、毎年、前年度の班長と新たに班長になった方や町内会役員、民生委員との顔合わせを兼ねた会を行っています。この会は町内会が設立された昭和47年から実施しています。

町内会が設立された当初から、近所同士で気にかけあっており、認知症で徘徊し、自宅からいなくなってしまった方がいた際は、町内会役員や近くに住む住民、近隣の店舗に「見かけたら教えてほしい」と呼びかけ、無事見つかったこともありました。

イベントについて教えてください

毎年実施している夏まつりは出店や子ども盆踊り、ダンスグループによる披露などを行い、200名以上の参加があります。クリスマスにはケーキづくりを行い、町内の親子100名以上が参加され大変盛り上がります。

また、これまで新小学１年生と中学１年生、75歳以上の方にお祝いを贈っていましたが、今年から若い方にも還元したい、町内会活動に少しでも関心を持ってもらえたらと思い、新成人にもお祝いを贈ることにしました。

どんな町内会にしていきたいですか？

特に若い方に関心を持ってもらえるような町内会にしたいと考えています。一度地元を離れても、いつかふるさとに戻ってきたくなるような地域にしていきたい。そのためには色々な世代の方に意見を出してもらい、より良い町内会にしていきたいと考えています。


班長顔合わせ会


夏まつり